都留市地名考 その三

多良郷の名称

窪田　薫

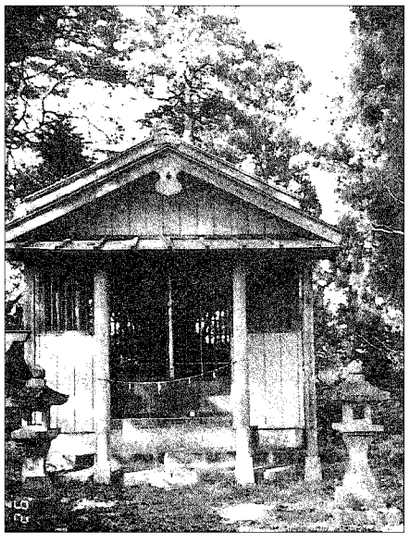
都留郡の郷名について『和名抄』に、相模、古郡、都留、福地、多良、賀美、征茂の七郷をのせている。そのうち多良郷について『甲斐国志』に、「上八田原ノ滝辺リヨリ下ハ田野倉ノ辺リ迄二里半余ノ間、左右諸村皆田原ノ郷ナルベシ、」と記されている。

大宝二年（七〇二）大宝律令が頒布され、評から郡の制度に移行された。当時都留郡は前記七郷から成っていた。郡は郷数により大・上・中・下・小に区別され、都留郡は七郷であるから下に位置していた。下の場合郡司の編成は、大領一、小領一、主帳（書記官）一名であった。

『地名語源辞典』に、「たら〔多良、多羅〕　金沢庄三郎氏は、満州語Tala（曠野、野外）と朝鮮語tur（野）は同系」としているので、都留郡と多良郷の名称は同意となる。また「多多良」「田原」は多良から転じたものと考えられている。多多良は足で踏むフイゴの意で製鉄所をも意味する。

『残簡風土記』に「住吉神社　元明天皇和銅二年（七〇九）六月佐伯公陰勧請之社也」とあり、公陰は当時田原に居住し、都留市法能と鹿留古城山上に住吉神社（武神）を勧請したことが知られる。

佐伯公陰は大和朝廷の武将である大伴氏と同族で、主に都留郡の軍事面を担当、非常の場合蝦夷の鎮圧にあたったものと考えられ、兵器、軍馬は現地調達が必要なことから、武器については多多良（田原）の地名及び矢作部の連、軍馬の調達については小野牧（都留市小野）との関係が注目される。



佐伯公陰が勧請した鹿留古城山上に祀る住吉神社

ふるさとの祭

8日	花まつり	市内諸寺
11日	三島神社例祭	田野倉
	四社祭	田町
	御獄神社例祭	横町・与縄
12日	赤石春日神社例祭	中津森
15日	大神宮例祭	仲町
	大神社例祭	境
	太宰府天神社例祭	境
	稲村神社例祭	小形山
	諏訪神社例祭	大原
	機神社例祭	大幡
16日	豊川稲荷	広教寺
	半僧坊	長生寺
18日	はたおり地蔵	小野
19日	子育て延命地蔵尊忌	
	夏狩団子坂	耕雲院
	豊川稲荷	宝鏡寺
20日	雛鶴神社例祭	曽雌
22日	お太子講	西願寺
23日	養蚕神社例祭	菅野
24日	かがめや地蔵尊例祭	法泉寺
	愛宕神社例祭	法能
28日	お不動さん	龍石寺
29日	第三十八回市制祭	文化会館他

甲州軍団出陣

花の香りに春の訪れを感じる四月上旬、戦国の名将「武田信玄公」の遺徳を偲ぶ、県下最大のイベント「信玄公祭り」が行われます。

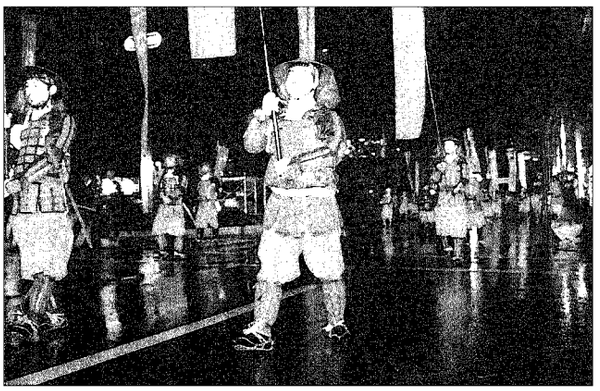
祭りのメインは「甲州軍団出陣」。

今年の出陣は四月十一日、県内各地から千五百余名の軍団が集結し、薄暮から「かがり火」の燃えさかる中、甲府駅前を中心に一大戦国絵巻を繰り広げます。

都留市からは、消防団東桂分団の精鋭四十名が、一番隊「飯富兵部少輔虎昌隊」として出陣します。

当日は、午後十二時三十分から、谷村第一小学校より仲町大神宮にかけて出陣祈願のため行進を行った後、甲府へ向け出発します。

皆さんのご声援をお願いします。



わんぱく相撲教室 & 第四回わんぱく相撲つる場所開催

（社）都留青年会議所では、来る四月二十九日、小学生を対象に、第四回わんぱく相撲つる場所を開催します。四年生～六年生の入賞者より代表（男子）を決め、七月二十六日に両国国技館で開催される第八回わんぱく相撲全国大会に出場します。

また、つる場所開催に先立って、相撲の決り手、礼儀などを覚えるために四月十九日に「わんぱく相撲教室」を開催します。相撲教室参加者には景品を多数用意します。

相撲教室

日　時　4月19日
　　午前8時30分～11時45分
場　所　谷村第一小学校体育館
参加費　無料
（豪華景品があたります）

わんぱく相撲つる場所

日　時　4月29日
場　所　谷村第一小学校体育館
受　付　午前8時30分
参加費　200円
（カレーライス・保険・参加賞）
参加資格　市内・秋山村・西桂町小学生
問合先　相原陽一　☎(43)2960